

第3学年 学年通信 自己探求・自己錬磨・自己実現 ～自分だけの正解を探して～

第11号 令和 3年 6月18日(金)

【『お探し物は図書室まで』～私も見つけることが出来ました～】

コロナによる外出制限、つまり私のお籠もり生活も今年で2年目。この新しい生活様式にもかなり慣れて来たような気がする。それもあってか、「今年のGW はもっと有意義に過ごそう」と思い立ち、本校図書室で連休中に読む本を4冊借りた。それ以降、急に読書女子になっている。(昨年のGW は大好きな韓国ドラマ三昧!これもなかなか有意義な時間である。推しのドラマは…またいつかのタイミングで話そう!きっと長くなるから。)

中高校生の頃は、推理小説を好んで読み、灰谷健次郎の小説にハマった。教員の仕事って良いな、と思ったきっかけがここにあるのかも知れない。それ以降、大人になってからは三浦綾子や百田尚樹、池井戸潤、東野圭吾など、気になった本を買って読むことはあったものの、ここまで次々と読書に目覚めるということは、さほど無かった。それも勤務している学校の図書室で借りて読む、ということは意外としてこなかった私。振り返れば、もったいない事しているな、と今頃悟った。それを気付かせてくれたのは、図書司書の〇〇先生。「本へのいざない」が誠に見事である。「今日はどんな本を探している?しっとり優しい気持ちになりたい?それとも楽しめるやつ?推理ものでハラハラしたい?感動&号泣したい?」など、私がどんな感情を本に求めているかをうまく聞き出し、それをヒントに数冊の本をパッと出してくれる。簡単なあらすじを紹介してもらった中から、「今日はこれにします。」と言ってその本とワクワク感を抱え、図書室を後にする日々。完全に〇〇マジックにかかっている。青山美智子著の「お探し物は図書室まで」を地で行っている〇〇先生、さすがである。その中で、先月一番心を揺さぶられた本「52ヘルツのクジラたち」が、今でも頭の中から離れない。2021年本屋大賞を受賞した作品なので読んだことがある人も多いだろう。31HR の K さんも「とっても良い本なんです。」と、ある時、薦めてくれた。内容としては、虐待・偏見・裏切り・トランスジェンダーなどの要素が散りばめられた、なかなか重い内容ではあるが、一般的なクジラの出す周波数の10~39ヘルツから逸脱した数値「52ヘルツを発するクジラ」が実際に存在していることから(世界で一番孤独だと言われているクジラ)、そのクジラのように誰にも気づかれぬ「声なき叫び(心の声)」を発し心に闇を抱えた子どもと、辛い人生を背負ってきた主人公との出会い、苦しみを抱きながらも必死に生きる姿、人と人とが手を伸ばし合いながら孤独の先の希望を描いた姿がとても感動的である。特に終わりに差し掛かるにつれ、ページをめくる度に涙が止まらなかった。つい先日この本のことを不意に思い出し、朝の通勤中、車の中で涙してしまった。そして、この本をきっかけに思い出した、とある出来事が蘇ってきた。

教員になりたての頃、副担をしていたクラスの終礼を終わらせ廊下に出た時、先に終礼が終わっていた隣のクラスの生徒が私を待っていた。「先生、ちょっと話したいことがあって…、時間ありますか?」と、何となくいつもと違う表情の女子生徒。「どうした?何かあった?」の返事に、何となく言いたげな雰囲気はあったもののその場では何も反応せず。じっくり時間をとって話を聞いてあげたかったのは山々だったが、その時、終礼後に会議を控えていた。「もうすぐ、会議が始まるから10分位しか時間が取れないんだけど、明日とかじゃダメかな?」と言ったら、「分かりました。大丈夫です。また明日お願いします。」との返事を貰ったのを安心して、「じゃあ明日の放課後時間空けとくから。」と言い、彼女の背中を見送った。その翌朝のこと…。隣の担任の先生が慌てていた。どうしたのか?と尋ねると、〇〇さんが学校に来ていない、家に電話したら「いつもの時間に出て行きましたけど、登校していないのですか?」と言われたらしい。要するに彼女がその時間、行方不明の状態だった。学校からも数人の先生が探しに出た。結果、彼女が見つかったのは数時間後、最寄り駅から2駅ほど離れた駅周辺。親から連絡が入った。私はホッとしたのと同時に、昨日の自分を悔やむ結果に。彼女の「大丈夫。」は、全然大丈夫じゃなかったのだ。彼女は、自分のクラスの先生ではなく、あえて私に、それも「あの時」に話を聞いて貰いたいと思い、廊下で待っていたはずなのに、彼女のいつもと違う表情を確認しておきながら、何故あのまま帰ってしまったのか、会議には遅れてでも良いから彼女と話す時間を作ってあげば、こんなにも親や先生達に心配掛けずに済んだのかも知れない…。しかしあの頃はまだまだ若く、そういう考えには及ばず毎日が必死だった。結局あの日私は、彼女の大事な52ヘルツの「声なき叫び(心の声)」を聞き逃した、ということだ。その一件が落ち着いた翌日、やっと彼女との約束を果たせた。2人で話をしながら、心に抱えていた不安や悩みを少しだけ取り除くことが出来たと思う。ようやく彼女の気持ちに寄り添えた放課後だった。そしてお互いが謝った。学校を無断で休んで迷惑をかけた彼女。あの日、あのタイミングでしっかり心の声をキャッチできなかった私。

あの頃が懐かしい。今思えば、あの経験があったからこそ生徒に寄り添う大切さや、タイミングを逃さず気持ちを受け止める大事さを学べた気がする。今でも足りない部分はたくさんあるが、これからも皆さんとの関係性を大切にしながら、心の声をしっかり掴んでいきたい。そして、卒業する日まで、全力でサポートし続けていくことを改めて自分自身に誓った。私の探し物はこれだった。ブルーの表紙が印象的な「52ヘルツのクジラたち」、私の手元まで導いて下さった〇〇先生、Kさんに感謝したい。ありがとうございました!

【週行事予定】 6/19(土)～6/30(水) ※学校行事は3年生関係分

月	日	曜	行事予定	課外	備考
6	19	土	土曜講座B		8:15 登校
6	20	日			
6	21	月	普通授業	◎	7:25 登校
6	22	火	普通授業	◎	7:25 登校
6	23	水	普通授業	○	7:25 登校
6	24	木	普通授業 ⑦⑧人権教育 I セルフチェック	◎	7:25 登校
6	25	金	普通授業	×	8:15 登校
6	26	土			
6	27	日	英検2次		
6	28	月	期末考査	×	8:15 登校
6	29	火	期末考査	×	8:15 登校
6	30	水	期末考査	×	8:15 登校

【新型コロナウイルス感染症の対応について】

○毎日の検温を欠かさず、健康管理に留意すること。 ○マスクの着用を徹底し、食事中以外はマスクを外さないこと。